



WEEKLY BULLETIN HANAMAKI SOUTH ROTARY CLUB RI Dist.2520 placecountry-region Japan

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を
深めるか
4. みんなのために
なるかどうか

**UNITE
FOR
GOOD**



RI2025-2026テーマ

”UNITE FOR GOOD” 「よいことのために手をとり合おう」

RI会長 フランチェスコ・アレツォ (イタリア, ラグーザ・ロータリークラブ)

第2520地区ガバナー 加藤雄彦 (仙台ロータリークラブ)

花巻南ロータリークラブ会長 高橋誠

第2830回例会 令和8年6月11日 ロータリー親睦活動月間

次第

- 1 開会点鐘 会長 高橋 誠君
- 2 ロータリーソング斉唱
- 3 四つのテスト
- 4 ゲスト紹介
- 5 会長の時間 会長 高橋 誠君
- 6 幹事報告 幹事 伊藤 拓帆君
- 7 慶祝(月初のみ) 親睦委員会
- 8 委員会報告
- 9 ニコニコBOX ニコニコBOX委員会
- 10 出席報告 出席奨励委員会
- 11 プログラム 枠外参照
- 12 閉会点鐘 会長 高橋 誠君

幹事報告

- 1.6/26(金)第2分区ガバナー補佐杯
親睦ボウリング大会のご案内
[奥州水沢東ロータリークラブ]
- 2.2026-27年度行事日程・公式訪問の日程表
- 3.8/21ロータリー財団フォーラム並びに
歓迎会のお知らせ
[ガバナーエレクト事務所]
- 4.2026年6月 ロータリーレート1\$=159円
[国際ロータリー第2520地区ガバナー加藤雄彦]
- 5.令和8年度花巻市勤労青少年ホーム運営協議会
定期総会送付と会費納入のお願いについて
[花巻市勤労青少年ホーム運営協議会
会長 藤沼弘文]

プログラム

6月

- 11日 会長・幹事事業報告
18日 休会
25日 最終夜例会 場所:グランシェール花巻

出席報告(6月4日例会)

29人中 14人の出席
出席率 56.0%
前回修正 68.0%

メーキャップ
なし

事務所 〒025-0075 花巻市花城町10-27 花巻商工会議所内 TEL・FAX 0198-41-1133
例会(木曜日12:30~) グランシェール花巻 花巻市大通り1丁目6-7 TEL0198-22-7777 FAX22-5111

花巻南 RC ホームページ
QR コード





会長の時間

ロータリーの標準定款が少し変わっているようで、衛星クラブというものができるときのために言及しておくという話でした。衛星クラブが将来作るときのためにちょっと幅を持たせた表記にしておいた方が良いかという事でまとまりました。あと、基本委員会が、クラブ運営委員会、会員増強委員会、公共イメージ委員会、ロータリー財団委員会、奉仕プロジェクト委員会となっていて、社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕、青少年奉仕は奉仕プロジェクト委員会の中に入っているという事になります。今期は提案を直す。ただし前回までのクラブ協議会で、人事等はもう承認いただいているので、来期の運営の中で、来々期の為に協議したり、修正していくという事になるかと思っています。

本日60周年記念事業の一環で制作する椅子を持ってきていただきました。背もたれを作るかという議論が出ていますが、市役所の担当者とも協議して調整していけばと。60周年が近づいてきたなと感じています。

国際奉仕委員長:似内裕司君

プログラムに関しては最初に作ったプログラムを入替があったときに変えました。交際奉仕委員長では、12月に開催したクリスマス家族会を、海外実習生とインターアクト校の交流が初めて開催して大成功だったと思います。

会場副監督:鎌田定悦君

藤本さんが毎週出席していましたので、出番は7月の第一週だけでした。ありがとうございました。

会員選考:伊藤智仁君

今年も何名か入っていただいて、ぜひ皆さんに自分の会社の話だとか、自分の取り組んでいるお話だとか、いい方向に変わりつつあると思います。来年もさらに磨きをかけていただきたいと思います。

ロータリー情報:照井正樹君

会長経験を活かし、マイロータリーの活用やロータリーの勉強会に積極的に参加し、動向や情報をフィードバックできるように努めますと立派なことを書いていますが、過去一参加率の低いとしとなってしまいました。大変申し訳ありませんでした。

青少年奉仕委員長:高橋照幸君

インターアクト校、花巻農業高校と花巻東高校をメインに活動させていただいています。例会は10月23日と5月14日に生徒、引率の先生においでいただき、学校の様子など発表頂いて、支援金を贈呈させていただいています。また市内の清掃活動等の奉仕活動への参加及び呼びかけ行い、10月5日7時から1時間ほど宮沢賢治童話村駐車場の清掃活動に参加いただきました。また、新たな取り組みとしてクリスマス会に参加いただき、世代や文化の垣根を超えた相互理解を含めて、ロータリーの奉仕理念を深く共有する機会になったと思っています。インターアクト年次大会に参加し大変有意義な会合に参加できたと思っております。最後に進路ガイダンスの実施です。11月と2月にそれぞれの学校で行いました。ロータリーの職業分類が生かされた講師活動ができました。

社会奉仕委員長:菊池忠彦君

予定していたロータリーデーの清掃はインターアクト校2校からも参加いただいて、何とか無事に終わることができました。

60周年実行委員長:照井敬孝君

60周年の方はおおよその骨組みは決まりつつあります。事業の方もベンチに大筋決まり、内容はインターアクトの生徒さん主催で考えています。金星少年少女オーケストラも入れてと考えています。

友好クラブとしては、大和ロータリーさんの都合が合わず、来訪はありませんでした。次年度は60周年と、友好クラブの大和さんの接待をしっかりとやっていきたいと思っています。

ニコニコBOX委員長:奥山隆君

5月までで728620円という事で、昨年は88万でしたので、そこには近づけたいと思っていますが、何分にも例会が少なくなったことと、出席者が高齢化したという事、また出席率が悪くなったという事が大きいかと思います。いずれ、昨年に追いつくようご協力をお願いします。

会長エレクト(会員増強):佐々木繁樹君

今年度は会長エレクトという事で、次年度のクラブ運営に向けて勉強しなければなという立場と60周年に向けてという事で活動しました。もっと理解しなければならぬんじゃないかなという部分はあと1か月という事でだいぶ緊張を増してきました。60周年に向けても、記念事業など気が引き締まる思いです。会員増強では、2名入会ですが退会が2名。お亡くなりになった方1名と1名減という結果です。

副会長:渡辺正乃君

本年度、高橋会長・伊藤幹事のもと、円滑なクラブ運営のサポートをすべく、努めて参りました。例会においては、何度か会長の代理を努めたり、新たな取り組みのオンライン例会の卓話を担当したり、協力することができたのではないかと考えております。

このオンライン例会の取り組みは次年度以降も続けていくであろうと思いますので、私が会長年度も引き続きやっていきたいと思います。例年通り、大和ロータリーさんのクリスマス例会に合わせて、当クラブはりんごを送っておりました。そういう活動は今後も継続して行ってほしいと思います。周年の場でお互い交流を深められればいいのかなと考えております。

会報・雑誌・広報委員(副幹事):清水由美子君

なるべく見やすく、読みやすい週報を作ることを中心にしました。AIなども使い作成スピードを上げましたが、方言に対応できず、変換が出来なかったと思います。

副幹事ではエレクトが参加できないものに参加することができました。



**UNITE
FOR
GOOD**





会長の時間

今月は青少年奉仕月間という事で、ロータリーにはクラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕という五大奉仕があります。今月んぼ青少年奉仕は単に若い人を支援するという意味だけではなく、地域の未来を育てる奉仕だと思います。若い世代にどのような経験や出会いを残せるか。とても大切なことで、花巻南ロータリークラブはそれを重視しているクラブなのだと思います。もちろん新しい花巻の模索、いい花巻を私たちが伝えていければと考えたところでございます。10代の若者たちは私たち大人を良く見ていると考えています。だからこそ、若者に希望を持たせるよう大人側がそのような地域を作っていかなければならないと思います。

人口減少、人手不足、物価上昇、国際情勢の不安定さ。若い世代を取り巻く環境は決して簡単なものではございませんが、このような時代だからこそ、応援してくれる大人がいるという事を感じてもらう事に意味があると考えます。花巻南ロータリークラブの青少年奉仕は、インターアクトの支援に加えて、金星少年少女オーケストラの支援も継続しております。音楽が技術だけでなく、人との協調、継続する力、感受性そして表現力を育てる非常に優れたものだと思いますので、引き続き彼らを支援することで、子どもたちの社会参加、奉仕意識というものを育てていければと思っております。



会員卓話:伊藤智仁君

私がしている建設業はどうやるべきかではなく、自分自身が建設業をどう感じて、どう取り組んで切るのかを話したいと思います。

建設業は産業部類では製造業でもない、商業でもない。他の産業から見たら、モノづくりというものに括られているのではと感じていて、モノ作りでも一品一品みな違うし、金額もそこそこ大きい。新入社員でも、平均で何千万何百万の物を仕入れて、自分の采配でコントロールできるというのが、建設業の面白味だと思います。

ただ仕事をしているだけ、指示されただけでは面白味というものが生まれない。日々の作業の中で、設計図を見たり工程図を見たりする中で、明日の仕事をやってみようという事ができる業界は建設業なんです。日々の作業の中で計画通り作業が進んだとかいう楽しみの部分が、建設業は一番味わえるのだらうと思って、建設業を楽しんでいます。

現場だけが面白味を感じているのかというとそうではなく、現場で何を使ったかを報告してもらい、それを管理する人、まとめる事務員もどうすれば作業の効率化を図れるか、原価を管理できるのかを考えていければ面白味が生まれてくるのだと。

仕事という切り口と、作業という切り口、仕事は工夫しながら良くしていくというのが仕事の領域だと思うけども、作業はどちらかというと、腕をみがくみたいな。会社にとっては作業の改善ができれば会社も儲かるけれど、作業は自分が楽をする。作業が楽になったらお客さんが喜ぶという話は成立しないなと。だからやっぱり仕事という切り口で当たっていかないとだめだという話をさせていただきました。

